



読売新聞「東京オリンピック開く」(1964年10月10日付夕刊)



朝日新聞 札幌五輪特報「笠谷さすが」金の大大アチ。(1972年2月6日)



日本経済新聞「武田が2種目制覇」(1998年3月8日付朝刊)



毎日新聞 号外「2020年東京五輪 56年ぶり開催へ」(2013年9月8日)

## リニューアルオープン企画

# 新聞が伝えた スポーツと社会

---

## オリンピック・パラリンピック報道展

【会場】ニュースパーク 2階企画展示室

【会期】

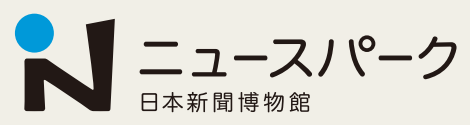
2016

7月20日(水) ▶ 9月25日(日)

【主催】ニュースパーク(日本新聞博物館)

【後援】公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC)、  
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会 (JPC)、  
東京都、横浜市、神奈川県教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、  
日本経済新聞社

【協力】公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、  
東京写真記者協会、キャンノンマーケティングジャパン株式会社



ニュースパーク  
日本新聞博物館

# 新聞が伝えたスポーツと社会 オリンピック・パラリンピック報道展

オリンピック・パラリンピックは、日本人のスポーツ観に大きな影響を与えてきました。本企画展は報道紙面を通じ、日本人のスポーツ観がどのように変遷してきたか振り返るとともに、東京2020大会に向け今後のスポーツのあり方を探ります。

1940年の東京五輪は、戦争の影響で開催は幻に終わりますが、64年の東京五輪は、日本の国際舞台への本格的な復帰を印象づけると同時に日本におけるスポーツ普及の契機となります。72年の札幌五輪を経て人々はスポーツをレジャーとして楽しむようになり、98年の長野五輪以降は生活の一部ととらえるようになります。

このように五輪を経て日本のスポーツ観は変遷していきます。そして2020年に開催予定の東京五輪は「スポーツの力でみんなが輝く社会へ」を掲げています。企画展では、障がい者スポーツの現状に加え、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず誰もが参加できる新しいスポーツの試みを紹介します。来館者に「スポーツで社会はどう変わるか」をテーマにメッセージを書いてもらい、今後のスポーツのあり方を考えていきます。

## 第1部

### 紙面で振り返る東京・札幌・長野

1940年の幻のオリンピックに続き、64年（東京）、72年（札幌）、98年（長野）の3大会を号外紙面やポスター、関連資料を紹介して振り返ります。新聞がスポーツと社会の関わりをどう伝えたのか、障がい者スポーツは社会にどのように受け入れられたのかをたどります。

## 第2部

### From リオデジャネイロ2016

オリンピック・パラリンピックに臨む注目選手のエピソードや各紙の特集記事、現地の様子を紹介した写真を展示します。リオ五輪開幕後は、東京写真記者協会によるリオデジャネイロ五輪・パラリンピック速報写真コーナーを設け、選手の活躍を臨場感あふれる報道写真で紹介しします。

## 第3部

### 東京2020大会に向けて

4年後の夏には、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。第3部では2020年大会に向けてどのような取り組みが現在進められているのかを紹介します。また、2020年に向け私たちの社会をスポーツがどのように変えていくのかを来館者の皆さんと一緒に考えます。

## ニュースパーク7月20日正午 リニューアルオープン

ニュースパークは7月20日（水）正午、リニューアルオープンします。新聞、ジャーナリズムが果たす役割をわかりやすく解説するほか、情報があふれる現代社会を体感したり、情報を見極める大切さを考えたり、新聞、ジャーナリズムの役割を楽しく学べる仕掛けがたくさんあります。

〒231-8311 横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター  
電話：045-661-2040 ファクス：045-661-2029  
<http://newspark.jp/newspark/>

<最寄り駅>みなとみらい線「日本大通り駅」3番情文センター口直結  
JR・横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩10分

